

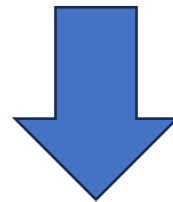
心臓血管病センター設立

心臓血管病センター長/外科学第一講座教授 西村 好晴

心臓血管病副センター長/内科学第四講座教授 田中 篤

心臓血管病センターの設立の背景

1. 循環器内科と心臓血管外科は多職種と連携し、ハートチームとして最適な高度先進医療を提供
2. 本学附属病院における心臓血管病高度先進医療の質と量ともに大幅アップ
3. 過去2年間の進歩が速すぎたため、本学の現状を県民に伝え切れていない
4. 本学を核とした心臓血管病の高度先進医療の充実により、県民予後が改善



県民の皆様に、本県の心臓血管病の高度先進医療の中心は本学であることを、わかりやすい形で伝えたい

さらなる高度先進医療の充実、循環器病の研究推進を図りたい

ハートチームカンファレンスの風景

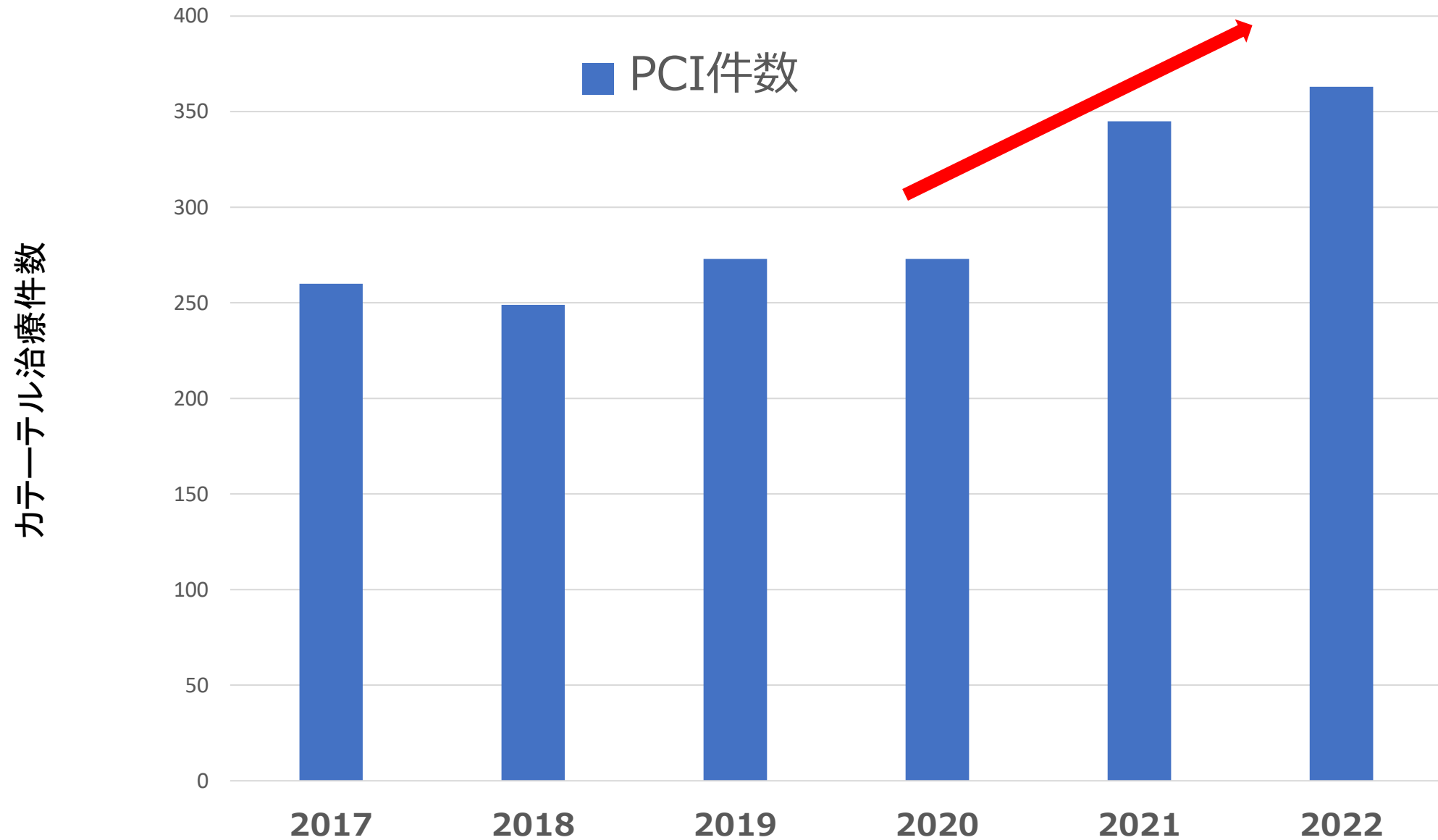


県内で当院でのみ施行している心臓・血管関連高度先進医療

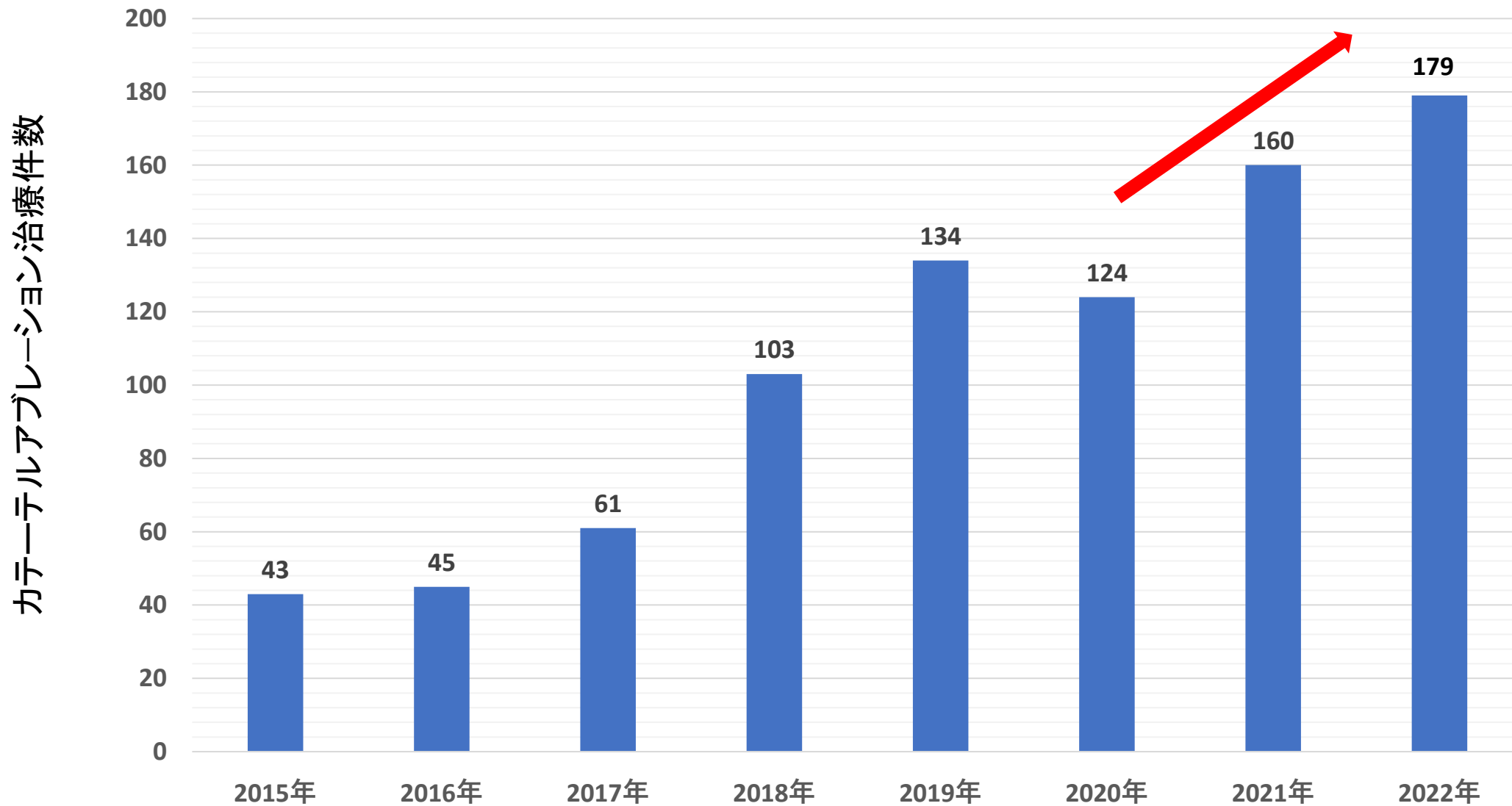
1. エキシマレーザ冠動脈形成術(ELCA)
2. 系統的冠微小循環障害診断
3. クライオアブレーション
4. 皮下植込み型除細動器 (S-ICD)
5. 経静脈電極抜去術 (レーザーシース使用)
6. 経皮的僧帽弁クリップ術 (MitralClip)
7. 経皮的卵円孔開存閉鎖術 (PFO closure)
8. 透析患者への経カテーテル的大動脈弁植え込み術(TAVI)
9. Navitorシリーズ(第3のTAVI弁)
10. 大動脈弁位生体弁へのValve-in-Valve (Evoluteシリーズ)
11. ATTR型心アミロイドーシスの遺伝子診断
12. ATTR型心アミロイドーシスに対する薬物治療(ビンダケル)
13. ATTR型心アミロイドーシスに対するsiRNA製剤による治療(ビンマック)
14. 心臓MRI検査(T1, T2 stir マッピング、4Dフロー、CS-CFR)
15. 化学療法前の心毒性出現リスク評価および、高リスク患者のフォローアップ
16. 化学療法による薬剤性高血圧に対する系統的血圧管理
17. 癌関連血栓症(CAT)に対する系統的治療介入
18. 循環器内科遠隔外来
19. 肺高血圧患者サポートプログラム (シェルパ)
20. 成人先天性心疾患外来
21. 失神外来
22. 肥大を呈する心筋症外来
23. 低侵襲心臓手術(冠動脈バイパス手術)
24. 低侵襲心臓手術(僧帽弁形成術)
25. 低侵襲心臓手術(僧帽弁置換術)
26. 低侵襲心臓手術(大動脈弁置換術)
27. 直接大動脈アプローチTAVI
28. 経鎖骨下動脈アプローチTAVI
29. ロボット心臓手術施設認定

黒字は過去2年間に導入

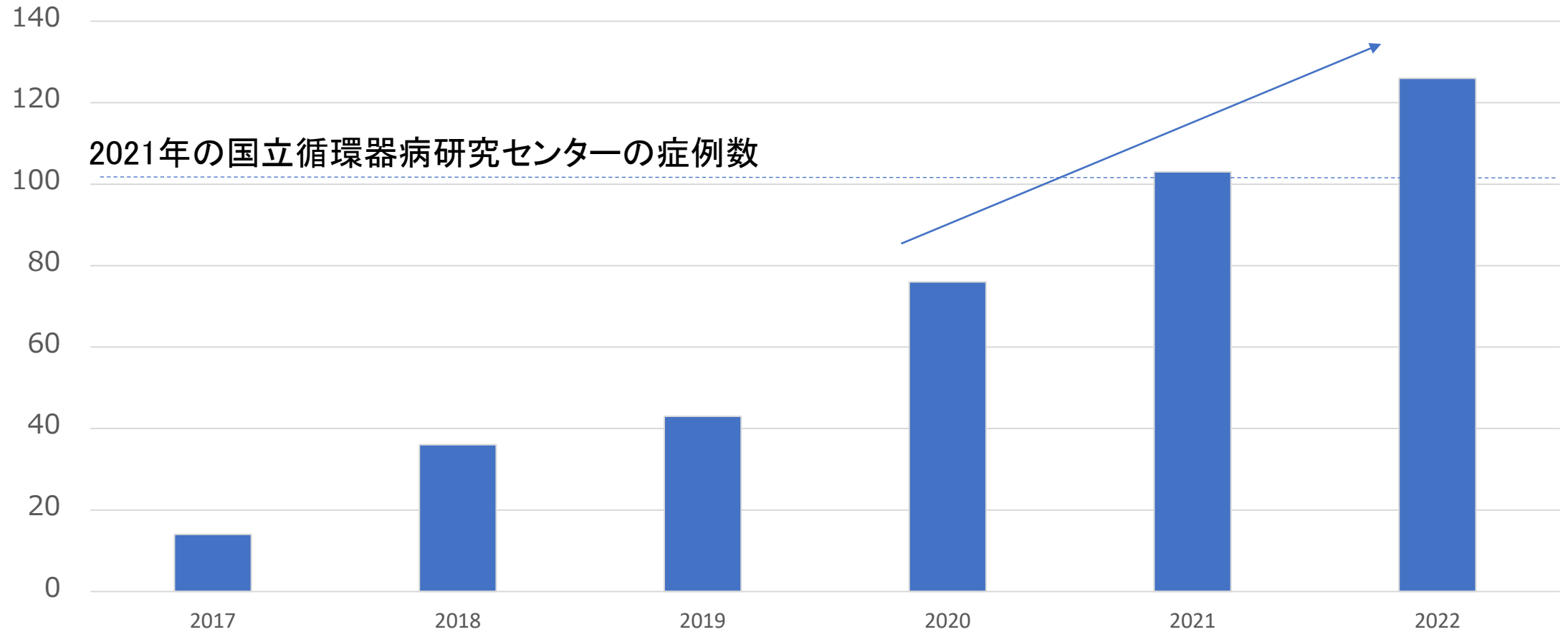
コロナ禍で全国的に心カテ症例数が減少する中、 本学のカテーテル治療件数は増加



本学のアブレーション件数は増加

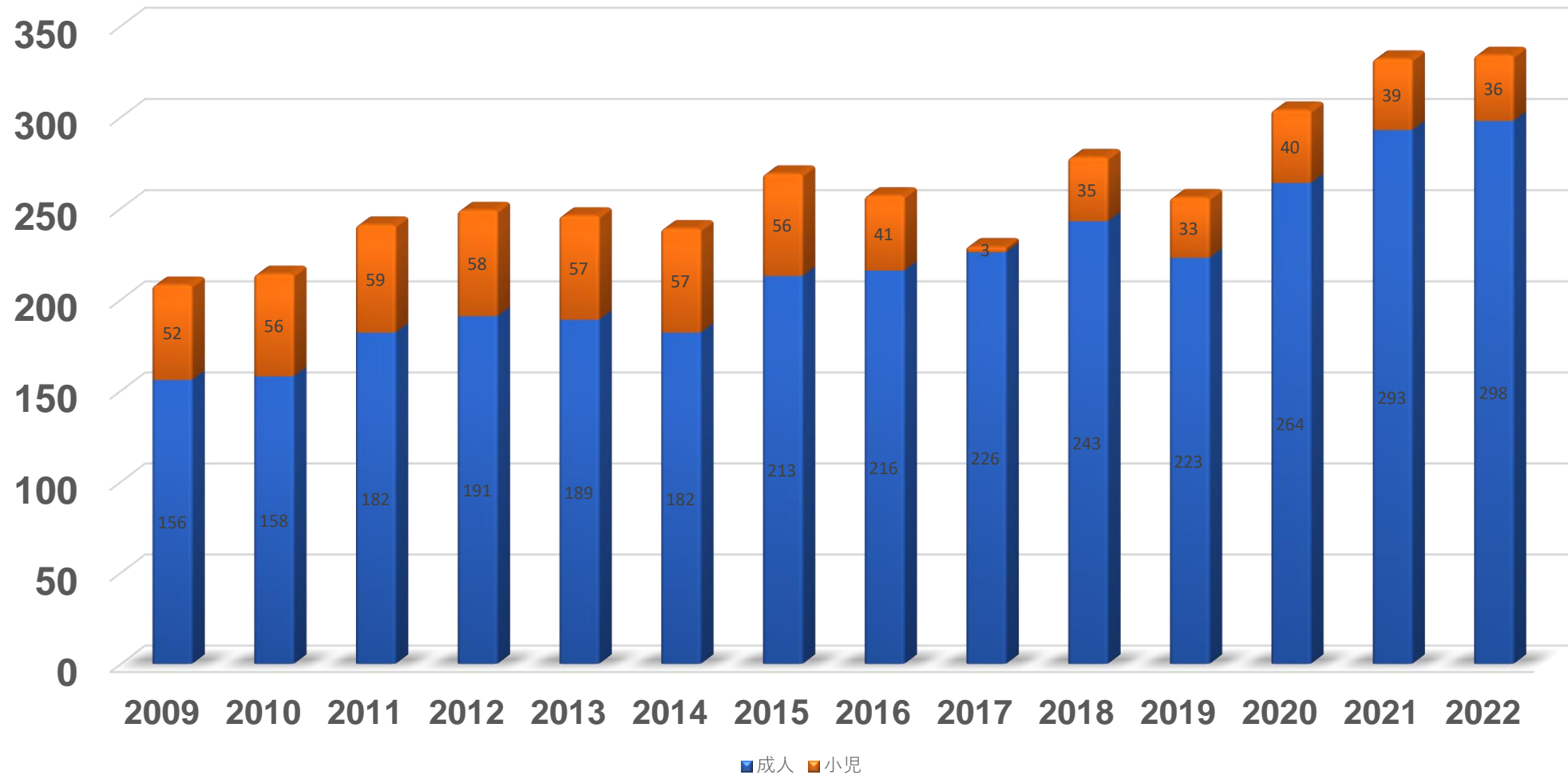


本学のTAVI症例数は増加



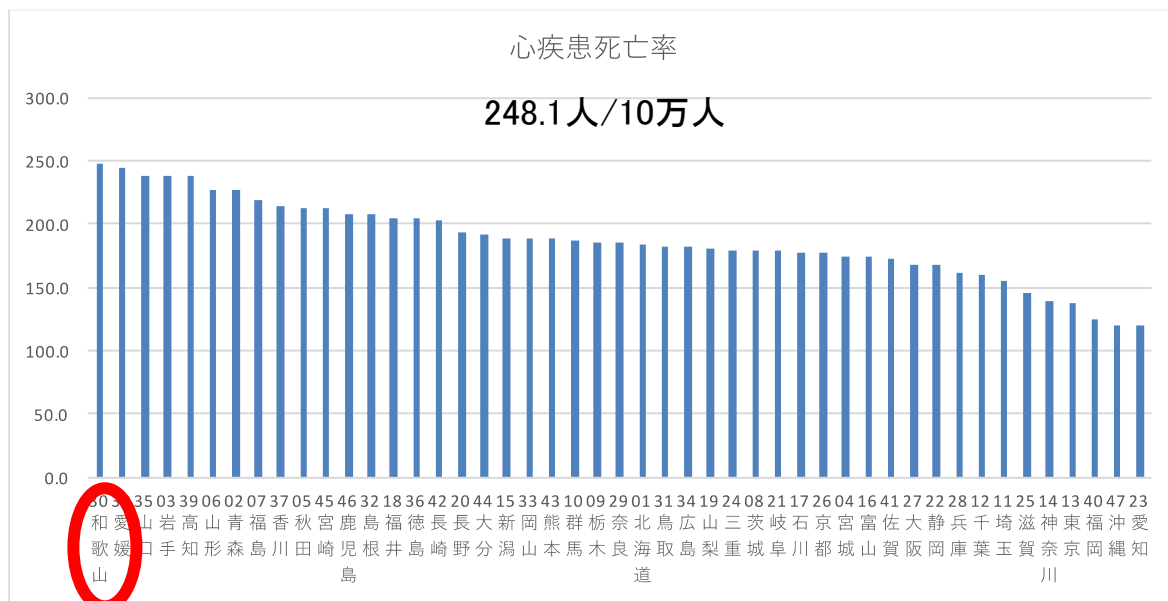
本学の開心術は増加

小児および成人開心術



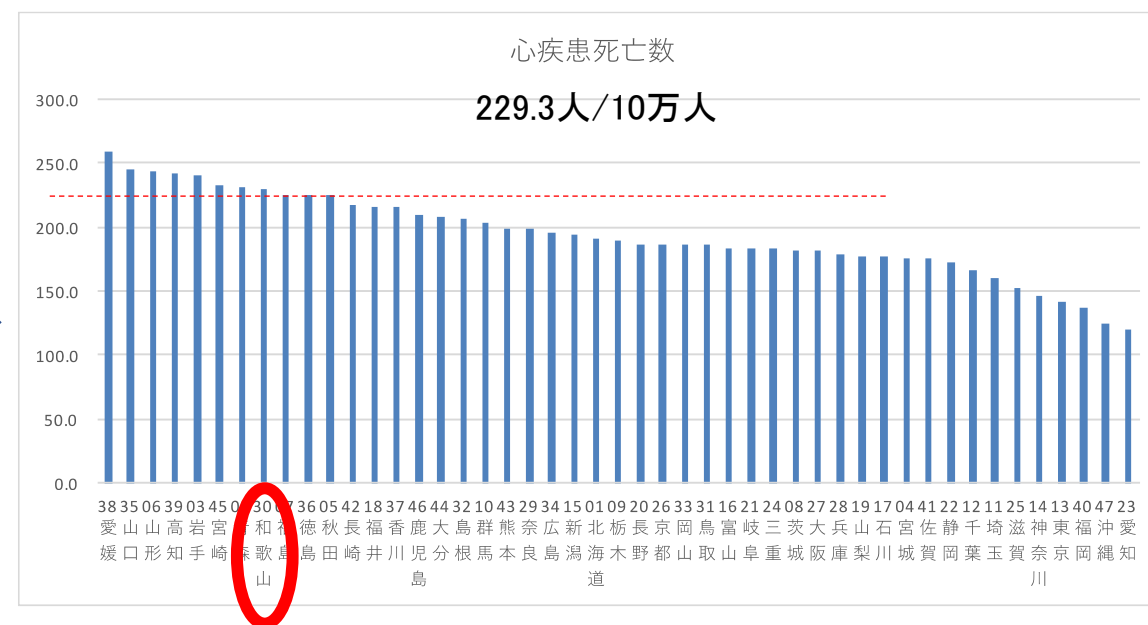
わずか2年で、人口10万人当たりの心疾患死亡率が改善 本学が充実すれば、本県県民の予後も改善

令和元年



全国最下位に転落！
ここがスタート地点

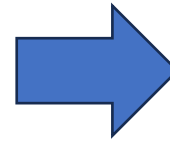
令和3年



2年で全国最下位を脱出！
ワースト8位まで改善

心臓血管病センターが設立後は、

- 県民への、啓蒙活動がより活発に、
- 県内医療機関への情報提供がより活性化し、
- 県内医療従事者への教育・研修機会が増加し、
- 本学の高度先進医療がさらに充実し、
- 高度先進医療実現のための研究が推進され、
- 患者・家族支援のさらなる充実が期待されます



県民予後のさらなる
改善が期待されます

今後の展望

循環器病の研究センターとしての整備

県内循環器救急診療ネットワークの整備

- ・心臓血管病センターを中心に県内医療機関をネットワーク化
- ・急性冠症候群/大血管疾患

脳卒中センター/腎臓病診療との統合運用

高度先進医療の充実

- ・経カテーテル左心耳閉鎖術
- ・心外膜アブレーション
- ・ASDに対するカテーテル閉鎖術（来年度以降に実施予定）
- ・肺動脈形成術（2年後開始予定）
- ・植え込み型左室補助デバイス(LVAD)